

シグマ研究委員会燃料計量部会  
燃料計量W. G. 第1回会合議事録

日 時：昭和50年5月22日(木) 13:30~17:30

場 所：東京本部第3会議室

出席者：久武(東工大), 吉沢(広大), 山田(早大), 橋爪(理研)  
加藤(名大), 喜多尾(放医研), 村田(NAIG), 田村(原研)

検討資料：要求核データ(II)の検討資料

1.  $r$ 線分岐比(加藤)
2.  $r$ 線分岐比(喜多尾)

議 事

1. 人 事

新年度から加藤(名大), 喜多尾(放医研)の2氏が燃料計量W.G.に加わることがシグマ研究委員会で正式に了承された旨部会長から報告があった。

2. 燃料計量用核データの委託調査

50年度の委託調査の調査項目と委託先として, つぎのように決定し, 契約事務を進めることになった。

調査項目：核燃料計量用核データ( $r$ 線標準)の文献調査

委託先：広島大学

3. 要求核データ(II)の分担変更

1.  $r$ 線分岐比

この項目は前年度まで, 藤岡委員の担当であったが, 同氏の退任にともない, 加藤, 喜多尾両委員がつぎの分担で引継ぐことになった。

加藤委員  $^{87}\text{Br}$ ,  $^{88}\text{Br}$ ,  $^{89}\text{Kr}$ ,  $^{90}\text{Kr}$ ,  $^{135}\text{I}$ ,  $^{137}\text{I}$ ,  $^{239}\text{Pu}$

$^{240}\text{Pu}$

喜多尾委員  $^{138}\text{I}$ ,  $^{139}\text{I}$ ,  $^{137}\text{Xe}$ ,  $^{138}\text{Xe}$ ,  $^{139}\text{Xe}$ ,  $^{240}\text{Pu}$ ,  
 $^{241}\text{Pu}$

## 2. 半減期

この項目の担当の川上委員の退任にともない、橋爪委員が引継ぐことになった。

## 4. 要求核データ(II)の検討

### i) $r$ 線分岐比(分担者 加藤)

$^{87}\text{Br}$ ,  $^{88}\text{Br}$ ,  $^{89}\text{Kr}$ ,  $^{90}\text{Kr}$  の4核種の調査が行われているが、未入手文献が数点ある。これらのいくつかは原研図書館で入手できる予定である。これらの核種のNaIによる $r$ 線データには誤差の記入されていないものが多く、10%の要求精度に達していないようである。

### ii) $r$ 線分岐比(分担者 喜多尾)

$^{240}\text{Pu}$  についての調査では原要求者の挙げているGunninkによる1%~3%の精度のデータがあるが、他の測定者によるデータと2~100倍も異なっている。したがって、要求の必要はあると思われる。

$^{139}\text{Xe}$  についてはNuclear DataにPrivate communicationが採用されている。

iii) 次回までにそれぞれの要求をWRENDA formに記入し、Priorityなど残された問題を検討する。

## 5. 今後の問題

i) 50年度前半には要求核データ(II)の検討を完了し、INDCへ提出する。

ii) 第2回の要求核データの提出後、どの程度の頻度で調査活動を行うか、検討する。

iii) 核構造データの格納、検索システムを整備する件については、他の核データ・システム(例えばORNL Nuclear Data system)の整備状況、それらのシステムの利用の可能性などを見守りながら、準備する。

6. 次回案

i) 日 時 7月18日(金)

ii) 場 所 東 京

iii) 議 題 1. 要求核データ(Ⅱ)

WRENDA form 記入したものを提出し、  
Priorityなど残された問題を検討する。

2. その他